

月田秀子の昨日、今日、明日・・・ Ontem, hoje, amanhã de Hideco・・・

藤沢に引っ越して初めての夏を迎える。当地が少し涼しいのか、今年は全国的に涼しいのか、かなり過ごしやすい初夏の日々を過ごしている。地球温暖化からまぬがれることはできないにしても、クーラーの室外機の吹き出し、アスファルトの照り返しがない分、都内より若干気温は低めに違いない。

朝は、4時半頃から目を覚まし、カーテンのすきまから、東の空を見る。鳥の声に耳をすます。鳥たちに負けないほど、朝が待ちきれないのだ。うっすらと明るくなったすがすがしい空気に雀の声がしてくる。日が昇ると鶯の声。最近近くに住み着いたようだ。裏の竹林が朝日に照らされる頃、すずめ、しじゅうから、メジロ、こじゅけい、元気な小鳥たちの一日が始まる。先日は、ホトギスの鳴き声を聞いた。初めて生で聞いたので、ぞくぞくと鳥肌が立ち、それから眠れず、とうとう起きだしてしまった。

7月梅雨明けと同時に、ひぐらしが鳴き始めた。ひぐらしというと、どうも夏の日暮れ時のイメージがあったのだが、早朝、スズメよりも早く鳴きだす。夜でも鳴いていることがある。日が陰ると鳴きだすようだ。ひぐらしの「カナカナカナナ・・・」という鳴き声は物悲しい。明るいファドにさえ哀愁が感じられるように。

藤沢というと「江ノ島」、「湘南」、そう「海」のイメージが重なるようだが、私の住んでいるのは、海から15キロほど山の方に入った「湘南台」という最寄りの駅からバスで20分ほど西へ入った畑作地帯だ。いわゆる「湘南野菜」の産地だ。バス停の向かいには黒毛和牛を飼っている牛舎もあるし、乳牛を飼っている牧場もある。かと思えば、廃棄物処理場もあちこちに点在している。油断大敵、時々、光化学スモッグ注意報のアナウンスも流れてくる。近くを走る県道からは、週末になると暴走族の爆音が轟き渡る。

6月の大阪大正アゼリアコンサートの前日、庭の梅の実を、大家さん共々収穫した。急いで梅酒を仕込み、大阪から戻ってすぐ、黄色く熟した梅で「梅干し」と「梅ジャム」を作った。

収穫にはタイミングというものがある、こちらの都合など待ってくれない。5月の鎌倉でのコンサートの前日は、落の葉を摘みに行き、初めて落の佃煮に挑戦してみた。お蔭で指先は落のあくで真っ黒になってしまった。

近くの畑を借りて、7.8メートルほどの畝5本の菜園を、先住の雉の夫婦に見守られながら作った。土おこし、肥料のやり方、苗の植え方、マルチの敷き方等、今年定年を迎えた大家さんのご主人がいろいろ教えて下さる。お蔭で、5月に苗を植えた夏野菜が次から次へと実り、毎日どう食し、保存するかを頭を抱えている。知恵袋はインターネットの野菜のサイト。様々なレシピと保存方法、栽培法まで載っている。ちなみに植えた野菜は、なす、トマト、唐辛子、島唐辛子、ハバネロ、ししとう、ピーマン、パプリカ、いんげん、ズッキーニ、ごーや、大根、ニンジン、かぼちゃ、すいか、きゅうり、小松菜、ホウレンソウ、菊菜、おくら、空心菜・・・苗屋さんに行くたびに、「食い気」から、ちょこちょこ買って植えていたら自分でも驚くほどの種類になってしまった。



前号で難病と闘っているという告白をして、皆様にたいへんご心配をおかけしてしまった体調ですが、こちらに引っ越してきた当初は、散歩もままならぬ状態でしたが、最近、家から5分ほどの畑へ行く足取りもしっかりとしている自分に驚いているところです。薬を飲み忘れない限り、確実に、激痛からは解放されています。ともかく、無理せず、焦らず、欲張らず、暮らしていこうと心がけています。どうか、ご安心ください。

声、こえ、Voz

皆様からのたくさんの励ましのお言葉、お見舞いの数々をいただきました。ありがとうございます。

ほんの一部ですが、温かい「声」の数々を掲載させていただきます。 月田

■昨夜、鎌倉でのコンサート拝聴しました。憂いに満ちたライブサウンドはシャンソンでもなくタンゴ、ボサノヴァでもない、だけど、約15年前にマドリッドから南下してジブラルタルからポルトガルに入り、ペジャ、リスボン、コインブラを経て、マドリッドへ戻った経験のある私には何となくFADOがわかるような気がする。

彼女の素晴らしい声量とポーチギーギターのコンビは人を中毒にするものがある、昨夜は他の予定をキャンセルして聞きに行った甲斐がありました。

私は、ニューヨークで彼女の最初のライブを聞いてから好きになった鈴木重子のボサノヴァが今でも大好きだが、浮気心が出てきたかも知れない。

私は藤沢に住んで40年近くになりますが、私が藤沢で一番好きな場所に芹沢というところがあり、晴れた日には大山と富士山がよく見えるのどかな田園地帯だ。ここへは季節が変わるたびにスケッチに出かける、ここから月田さんのお宅まではおそらく車で10分程度かと思う、近くのあぜ道に座って四方山話でも出来ればと思うと急に親近感が沸いてきた。(藤沢在住・U氏)

■おかげさまで雰囲気たっぷりのさよなら例会となりました。こちらの不手際で、何の準備もなく、最後の灯りを明るくして月田さんのお顔をもっと皆さんに見ていただきたかった。ある小さな街の出来事としてお許しください。食事もずいぶん貧しき味であったかも知れませんが、それにもかかわらず、ステージを大切にいただき感謝です。

また頂戴したCD、DVDは私が驚嘆するには十分なプレゼントでありました。五木寛之さんが月田さんが歌うと何でもファドになる・・・私の好きな「人生よありがとう」入っていました。また、「旅の終わりに」も何度も拝聴することとなりそうです。もちろん「大河の一滴」感動です。

いつかまた、どこかの席にチョココンと座っておるかも知れませんが、能登半島から出てきた一人の旅人として、人生を振り返る一人の人として、一人の月田ファンとして・・・ありがとうございました。(群馬・K.K)

■会報いただきました。ショック！！そんなつらいところを歩き戻りついているとは・・・しかし、歌い続ける覚悟。業を背負った一人のファド歌いの人生を考える。いまのあなたかほとぼしる歌を聴きたい！秋田でも生音ライブをやりたい。

共に生きていることを実感できるようなライブを！
(秋田・S.M子)

■“めぐり来る 時の重みや 風光る”

大変やったナ。せやけど生きてることの輝きを失くしたらあかんゾ。十一面観音像は喜怒哀楽を超えた人間の偉大さを教えてくれるのと違うか？「生老病死」生きてことは素晴らしいことなのだ。「衆生」生きとし生ける者の歩みに釈迦牟尼佛は無限の力を貸してくれている。がんばろうではないか！ 明日とは明るい日であることを信じよう！！

(奈良・A.M)

■手作りの会報、お大変でしたことでしょう。でも大成功！！今までにまして素晴らしいです。

会報を拝読して、涙が出ました。月田さんらしいりしさと力まない自分らしさで、病に対する対応、思いを表現なさっています。一流の芸術家でいらっしゃる事が、文章でも証明されていますね。病いはお辛いでしょうが、死に至る病でないと書いていらっしゃるのだからそれだけは嬉しゅうございました。私も大病はしませんが、手術をしたり、うつになったり、足が痛くて歩けなかったり、他にも色々問題を抱えていて、聞いた人はびっくりなさるほどです。が、そのロングストーリーをご存知の方から「人間、そんなにやわやわない」と言っていたことがあり、そのシンプルな励ましが万巻の書よりも私を支えてくれました。その方も、ファド倶楽部会員だったと後で知りました。もっともっとお役に立ちたいのに、今のところ何もできずにもどかしい気持ちです。

あなたのファドを知ってからまだ6年目ですが、どんなに救われているか、ことばでは表すことができません。本当にありがとうございます。音楽、ファド、月田秀子の歌声。人の魂を救えるという仕事(というかしら?)は、誰でもができることではありません。神さまからの贈り物ですね。(東京・H.M)

■会報で、新聞で、難病と知り、こんな時にコンサートなど私はなんて無理なお願いをしてしまったのでしょうか？

「歌っている時は、痛みを忘れるの」秀子さんのその言葉に甘えて、無事幕が下りた時、思わず涙し、手を合わせていました。心からありがとうございます。そして、お疲れ様でした。大阪大正での「きまぐれライブ」は、私にとってあなたの歌声に酔いしれる至福のひと時なのです。(大阪・I.R子)

ファド倶楽部会員限定 CD「月田秀子コレクション Vol.2」

アマリア・ロドリゲスが亡くなって10年が経つ今年、アマリアの詩によるファドを集めたCDを作ることにした。2006年、アマリアのギタリスト、カルロス・ゴンサルヴェスと共にコンサートツアーをした時の録音を中心に集めてみた。(曲目: 涙・蜜の恋、苦い恋・叫び・月の花・不如意・私の中のファド・歌に憑かれて・私の憂い・風の翼)
加えて1999年アマリアの追悼コンサートの際歌った「暗いはしけ」(CD「ありがとうアマリア」に収録)、6月大阪アゼリアホールにて録音の「大河の一滴」(弾き語り)、「汽車は八時に出る」も収録。お楽しみに♥



編集作業をしながら、典型的なファドの2ビートのノリで奔放、華麗に歌の合間を塗りこめようとするポルトガルギターと4ビートを刻むギターとの相容れないせめぎ合いの間で苦しんだ2006年のコンサートのことが昨日のこのように思い出され胸が痛んだ。にも拘らず！その後のどんな録音もあの2006年のコンサートを越えるものはないことに気がついて愕然とした。それからの私の歌は一体何だったのだろうか？刀折れ矢尽き心身ともに病んでいたからか？そんな私の歌を聴いて下さった人たちへの申し訳なさ、自分への不甲斐なさは、いつしか無謀ともいえるあのコンサートを乗り切った自分へのおしさに変わっていった。そんな私を支えてくれた二人のギタリストへの感謝の気持と共に。変えようのない過去の思い出を素直に受け止めることにしたのだ。これも時間薬の効能だろうか？

夕暮れ時に、ひぐらしが鳴き始めた。その鳴き声が、カルロス・ゴンサルヴェスのポルトガルギターの音と重なった。

大正アゼリアホール「きまぐれコンサート Vol.12」DVD 発売のお知らせ



6月15日に大阪大正アゼリアホールで開催されたコンサートのDVD「きまぐれライブ Vol.12」を主催の大正ファド倶楽部の皆様が作って下さいました。

(収録曲目: 枷・あなたにファドを・貧しさは不幸じゃない・お聞き下されワイン殿・カプラオン通り・難船・神よお許ください・月の花・洗濯・アイマリア・不如意・涙・風の翼・暗いはしけ・大河の一滴(弾き語り)・汽車は八時に出る)

ご希望の方は、下記大正ファド倶楽部井本良子さんまで、お電話もしくはファックスでお申し込みください。

なお、昨年のきまぐれライブのDVDも若干在庫があるそうです。2部のアルゼンチンのユパンキ他の月田の弾き語りを始め、ギターの飯泉昌宏との「アルフォンシーナと海」、月田の違った側面をうかがえる映像です。

こうしてひとつずつ思い出の映像を残してくださるファンの方々の熱い思いに応えるべくコンサートを重ねてゆきたいと思います。

大正ファド倶楽部 井本良子 昼間 TEL:06-6552-7053(喫茶 アルマ) 夜間 TEL/FAX:06-6552-3820



点と点をつなぎつつ あなたに会える予感の嬉しさ たどりつけぬもどかしさ

月田秀子のスケジュール

9月 1日(火) 四谷「マヌエル・カーザ・デ・ファド」 サウダーデの夜 VOL.70 *要予約 03-5276-2432
2日(水) ライブチャージ:2,500円 開場:18:00 演奏:①20:30 ②21:30 ③22:30

10月 2日(金) 京都・四条烏丸「ホテル日航プリンセス京都」 デイナーショー

予約・問合せ:075-752-0404 アルテピアノ

開場:18:00 開演:20:00 料金:12,000円(ディナー・ショーチャージ込)

♪今、京都で注目をあびつつあるホテルでのディナーショーを企画してみました。目標は100名です。皆様お誘い合わせのうえお越しくださいませう。(アルテピアノ・山中佳寿美)

10月 3日(土)名古屋「崇覚寺本堂」“ 秋の午後のファド” 申し込み・問合せ:052-332-5820

開演:午後3時 チケット:4,000 円(アフタヌーンティ・焼き菓子付)

♪アマリア・ロドリゲスの命日を3日後に控えて、それにふさわしいコンサートにしたいと思っています。(名古屋ファド倶楽部・水谷)

10月 4日(土)大阪「堺能楽会館」 申し込み・問合せ:072-233-8188

開場:13:30 開演:14:00 チケット:3,000 円(前売り) / 4,000 円(当日)

♪前は、能面の小面をつけての弾き語りから始まりました。今年は、いかに？

10月 6日(火)四谷「マヌエル・カーザ・デ・ファド」 サウダーデの夜 VOL.71 * 要予約 03-5276-2432

7日(水) ライブチャージ:2,500 円 開場:18:00 演奏:①20:30 ②21:30 ③22:30

10月18日(日)北海道・富良野 * 詳細未定 お問合せ:090-2074-7628(C-プランニング・フラノ篠田)

10月19日(月)北海道・帯広「IN THE SUITE」ディナーショー 申し込み・問合せ:090-3772-0385

10月20日(火)北海道・札幌「くろ COO」“北の夜のファド” 申し込み・問合せ:011-616-7713

開場:18:30 開演:19:00 料金:3,500 円(予約) 4,000 円(当日)

♪定員 80 名のライブハウスでのファドです。北海道の皆さんに、もう一度お会いしたい一心で。(月田)

10月21日(水)北海道・函館 只今計画中です。

♪今は亡き渋谷「ジャンジャン」で月田さんのファドを聴きました。函館の皆さんに月田ファドを是非体験してもらいたく思う。(さちよ)

11月 3日(月)四谷「マヌエル・カーザ・デ・ファド」 * 要予約 03-5276-2432

昼下がりのファド Vol.2 開場:12時 開演:1時半 ライブチャージ:2,500 円

♪「夜は、どうもでにくい」というお客様の声にお応えしての昼間のファドです。地下に下りれば、そこはリスボン之夜。

11月 4日(火)四谷「マヌエル・カーザ・デ・ファド」 サウダーデの夜 VOL.72 * 要予約 03-5276-2432

ライブチャージ:2,500 円 開場:18:00 演奏:①20:30 ②21:30 ③22:30

11月 7日(土)長野「小諸ユースホテル」 申し込み・問合せ:026-723-5732

開演:19:00 会費:3,500 円

♪2年ぶりのライブ。懐かしのユースの2段ベッドで若いころを思い出してみませんか？満天の星空も、終演後のパーティも一興。酒有。

11月12日(木)大阪「帝国ホテルチャペルコンサート」 申し込み・問合せ:06-6881-4650

開場:18:30 開演:19:00 料金:3,500 円

11月13日(金)神戸「サロン・ド・あいり」 * 要予約 078-241-1898

開場:18:00 開演:19:00 料金:5,000 円(料理・ドリンク付き)

11月14日(土)大阪・上六「長安寺」 申し込み・問合せ:06-6761-4022

開場:15:00 開演:15:30 チケット:2,500 円

♪プールが縁のお寺の奥様が奮闘。前回「月見の宴」以来、ライブ第2弾です。

11月14日(土)大阪・南方「三裕の館」 * 要予約 06-6304-1745

開演:20:00 料金:5,000 円(オードブル・ワイン付き)

11月28日(土)神奈川・藤沢「リラホール」 晩秋の昼下がりのファド 申し込み・問合せ:tel/045-873-8081

開場:14:00 開演:14:30 チケット:3,200 円(前売り)3,500 円(当日)

♪月田ファドの根強い人気にびっくりしています。昼下がりのファド第三弾、もちろん生音です。(ル・コンセール湘南・鈴木)

編集後記 気がつけば、すでに異常気象の夏も終わり。季節はずれの内容多々あり。

伝えたき事多く、やり直しもきかず。取り急ぎ発信。(2009.8.23)